



2022年2月9日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
(コード番号: 6264 東証第一部)
問合せ先 管理本部長 下舞 毅
(TEL. 0996-68-1140)

業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年10月8日の2021年8月期決算発表時に開示した2022年8月期第2四半期(2021年9月1日～2022年2月28日)の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2022年8月期第2四半期累計期間業績予想の修正(2021年9月1日～2022年2月28日)

(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	3,540	900	890	623	48.68
今回修正予想(B)	3,900	1,184	1,177	836	65.29
増減額(B-A)	360	284	287	213	
増減率(%)	10.2	31.6	32.2	34.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年8月期第2四半期)	2,299	424	422	294	23.01

(2) 修正の理由

2022年8月期第2四半期累計期間につきましては、半導体分野の市場が好調に推移したこと、FPD分野におきましても市場が当初想定以上に好調であったこと、その他分野におきましても太陽電池製造装置向けの受注が想定以上にあったことなどから、売上高見通しを3,900百万円に修正いたしました。

損益面につきましては、売上高の増加に加え、変動費の比率が低い受注が増えたことで、当初想定よりも材料費と外注費が低くとどまること、また、生産能力拡大により在庫が増加傾向であることなどから、営業利益は1,184百万円、経常利益は1,177百万円、当期純利益は836百万円と見通しを修正いたしました。

なお、通期見通しにつきましては、足元の好調な市場環境が継続する見通しである一方、顧客メーカーにおいて半導体等の部材不足によって組立の遅延が発生するなど不確定な要素が存在することから現時点では据え置きといたしました。ただし、部材不足は当期第1四半期から一定程度は発生しており、今回の第2四半期業績予想には織り込んでおります。

2. 配当予想の修正（増配）について

（1）2022年8月期配当予想の修正

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 発 表 予 想	18 円 00 銭	18 円 00 銭	36 円 00 銭
今 回 修 正 予 想	22 円 00 銭	22 円 00 銭	44 円 00 銭
前 期 実 績 （2021年8月期）	10 円 00 銭	14 円 00 銭	24 円 00 銭

（2）配当予想修正の理由

当社は、株主への利益還元につきましては、重要な経営課題と認識しており、長期的な視野に立った投資の実施とともに、経営成績及び財務状況を勘案しつつ、配当による株主への利益還元に努める方針とし、中期事業計画の期間中において配当性向の目標を30%以上、最低配当額を年額1株当たり10円としております。

そのような方針下におきまして、前項の2022年8月期第2四半期累計期間の業績予想の修正と好調な市場環境が継続している状況から、当期（2022年8月期）の配当予想を、前回予想（2021年10月8日発表）の第2四半期末配当を1株当たり18円から22円へ増配し、また、期末配当も1株当たり18円から22円の見込みへと修正することといたしました。これにより、中間配当金を含めた当期の年間配当金は1株当たり44円（うち中間配当金22円）とすることを予定しております。

なお、期末配当につきましては、2022年11月下旬に開催予定の第35期定時株主総会に付議する予定であります。

以 上

(注)本資料に記載されている業績予想は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。